平成１７年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号） ３０ ※記入不要	提案機関名	横浜川崎地域農業改良普及センター

要望問題　シクラメンの各生育ステージにおける植物ホルモンの影響の究明

要望問題の内容　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）　】

背景

シクラメン生産においてジベレリン等の植物ホルモン剤が使われているが、それらを有効に活用するため、各生育ステージ毎に活性化する植物ホルモンの種類と働きを究明すると共に、植物ホルモン剤の施用により生じる形態の変化について調査が望まれている。

内容

シクラメンの各生育ステージ毎の植物ホルモン剤散布による植物形態の変化の調査
〃　内生ホルモンの消長
〃　適正な植物ホルモン剤処理技術の開発

対象地域及び規模

横浜市および川崎市約 50 戸

解決希望年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
研究対応区分	①研究所対応　②委託研究　③共同研究　④その他
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所（ ②根府川試験場　③三浦試験場　④津久井試験場 ） ⑤畜産研究所　⑥水産総合研究所（ ⑦内水面試験場　⑧相模湾試験場 ） ⑨自然環境保全センター

※　ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業総合研究所

部　　署：生産技術部

対応区分	①実施　②実施中　③継続検討　④実施済　⑤調査指導対応　⑥現地対応　⑦実施不可

試験研究課題名　（①、②、④の場合）
作物の生理・生態特性の解明に基づく栽培技術の確立

対応の内容等

シクラメンの内生ホルモンの消長については調査はされていませんが、ジベレリンやＢＡなどの散布試験は茨城県などで行われています。

当所では内生ホルモンの調査は困難です。植物調整剤の利用については、上記課題のなかで行っていく予定です。

解決予定年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
備　考	